





c) ライン補足調査

ライン補足調査結果の概要を表-6.15.1.22に、調査測線上の代表点で行ったライン上スポット調査の結果概要を表-6.15.1.23に、結果を表-6.15.1.24に示します。また、夏季及び冬季に実施したライン調査結果とあわせて、藻場の被度及び藻場構成種の出現種類数の季節変化を整理した結果を図-6.15.1.25～図-6.15.1.29に示します。

ライン上スポット調査における海藻草類の出現種類数は春季に92種類、秋季に72種類でした。ライン調査の結果では、ホンダワラ類が冬季に比べて夏季に繁茂する傾向が認められましたが、春季と秋季の調査結果からはこうした傾向は認められませんでした。

海草藻場の被度の変化についてみると、藻場が確認された観察枠数の総数には大きな変化はみられないものの、春季から秋季にかけて高い被度で繁茂し、冬季には被度が低下する傾向が認められました。藻場構成種の種類別の出現状況を見ると、リュウキュウスガモやボウバアマモなどで同様の季節変化が認められます。また、海草藻場構成種の出現種類数の変化には明確な傾向は認められませんでした。

ホンダワラ藻場についても夏季を中心に繁茂し、冬季は被度が低下する傾向が認められました。種類別の出現状況を見ると、最も出現頻度の高いホンダワラ属で同様の季節変化が認められます。また、フタエモク、ヒメハモク、チュラシマモクなどは夏季にのみ出現していましたが、藻場構成種の出現種類数には、海草藻場と同様に明確な季節変化は認められませんでした。

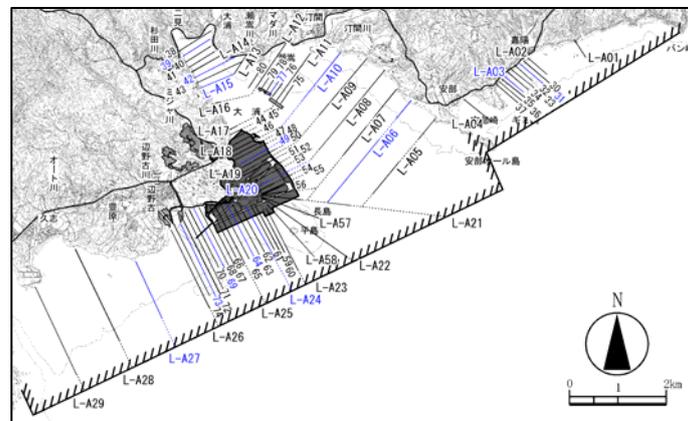
表-6. 15. 1. 22(1) ライン補足調査結果概要（平成 20 年度、春季）

調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日

【海草藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	38	13	13	21	10	4	8	0
L-A6	2700	98	2	0	0	0	0	3	580
L-A10	1960	93	6	1	0	0	0	3	660
L-A15	770	94	6	0	0	0	0	4	0
L-A20	1170	67	3	5	8	13	5	7	780
L-A24	1980	60	0	3	9	15	13	8	780
L-A27	1950	68	8	18	5	0	0	5	650
L-A31	700	74	16	7	0	3	0	5	0
L-A39	660	68	32	0	0	0	0	4	0
L-A42	970	61	28	7	1	3	0	8	0
L-A49	950	70	17	8	5	2	0	5	290
L-A64	1220	55	11	7	9	9	10	8	0
L-A69	1400	38	18	21	9	5	10	7	0
L-A73	1660	62	8	10	6	9	5	8	0
L-A77	370	59	41	0	0	0	0	2	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

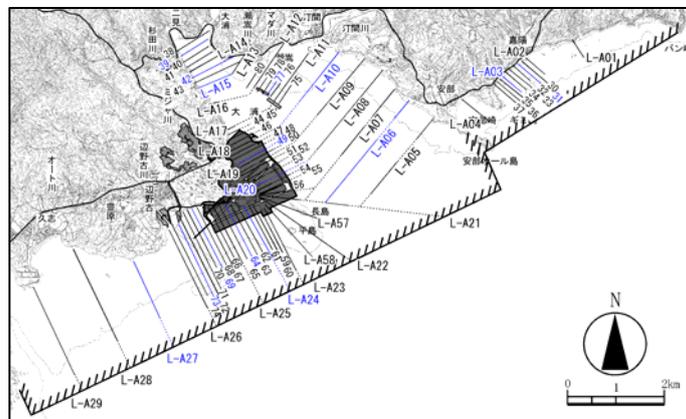
表-6. 15. 1. 22(2) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、春季)

調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日

【ホンダワラ藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	42	52	6	0	0	0	3	0
L-A6	2700	31	32	11	8	12	7	2	580
L-A10	1960	98	2	0	0	0	0	1	660
L-A15	770	71	13	16	0	0	0	2	0
L-A20	1170	67	23	5	5	0	0	2	780
L-A24	1980	48	11	25	15	1	0	3	780
L-A27	1950	45	14	10	30	1	0	3	650
L-A31	700	99	1	0	0	0	0	1	0
L-A39	660	100	0	0	0	0	0	0	0
L-A42	970	85	13	2	0	0	0	2	0
L-A49	950	89	11	0	0	0	0	2	290
L-A64	1220	47	16	17	7	12	0	2	0
L-A69	1400	58	19	18	5	0	0	3	0
L-A73	1660	52	29	7	8	4	1	3	0
L-A77	370	92	8	0	0	0	0	1	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

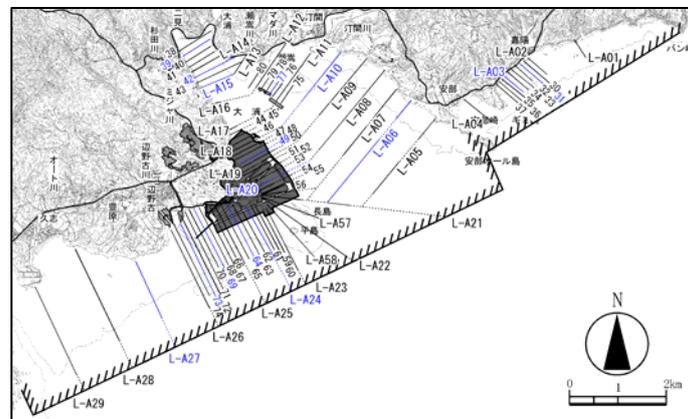
表-6. 15. 1. 22(3) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日

【海草藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	48	4	13	21	13	0	6	0
L-A6	2700	91	0	0	0	0	0	0	580
L-A10	1960	90	10	0	0	0	0	2	660
L-A15	770	94	6	0	0	0	0	3	0
L-A20	1170	54	13	23	10	0	0	5	780
L-A24	1980	59	3	6	20	12	0	7	780
L-A27	1950	72	5	16	5	2	0	5	650
L-A31	700	76	7	14	3	0	0	6	0
L-A39	660	61	20	15	6	0	0	5	0
L-A42	970	54	27	18	2	0	0	7	0
L-A49	950	71	20	9	0	0	0	3	290
L-A64	1220	46	6	15	17	16	0	6	0
L-A69	1400	28	11	15	24	23	0	7	0
L-A73	1660	54	17	10	17	1	0	8	0
L-A77	370	59	27	14	0	0	0	3	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

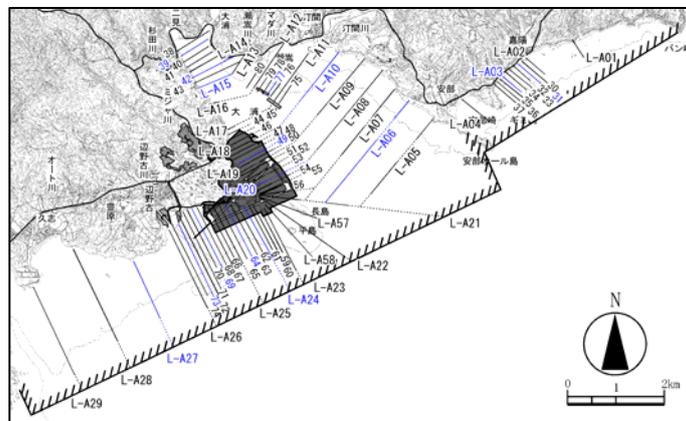
表-6. 15. 1. 22(4) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日

【ホンダワラ藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	27	25	15	6	17	10	3	0
L-A6	2700	26	26	11	19	8	1	3	580
L-A10	1960	92	8	0	0	0	0	2	660
L-A15	770	71	29	0	0	0	0	5	0
L-A20	1170	85	5	10	0	0	0	1	780
L-A24	1980	38	25	35	2	0	0	3	780
L-A27	1950	40	15	20	18	7	0	3	650
L-A31	700	26	29	20	4	21	0	3	0
L-A39	660	100	2	0	0	0	0	1	0
L-A42	970	46	48	5	0	0	0	3	0
L-A49	950	98	2	0	0	0	0	1	290
L-A64	1220	43	23	27	7	0	0	3	0
L-A69	1400	50	24	10	14	1	0	3	0
L-A73	1660	42	20	28	7	2	0	3	0
L-A77	370	100	0	0	0	0	0	0	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

表-6. 15. 1. 23 ライン補足調査における海藻草類のライン上スポット調査結果概要  
(平成 20 年度)

調査時期：平成 20 年 3 月 29 日～4 月 19 日 (春季)

平成 20 年 10 月 3 日～11 月 6 日 (冬季)

項目	区分	春 季		秋 季	
		調査地点数	全 12 地点に 占める割合 (%)	調査地点数	全 12 地点に 占める割合 (%)
海藻草類の被度	0%	1	8.3	1	8.3
	5%未満	3	25.0	1	8.3
	5～25%	2	16.7	3	25.0
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	3	25.0	4	33.3
	75%以上	3	25.0	3	25.0
海藻草類の出現種類数	0 種類	1	8.3	1	8.3
	1～4 種類	1	8.3	2	16.7
	5～9 種類	1	8.3	0	0.0
	10～19 種類	2	16.7	3	25.0
	20 種類以上	7	58.3	6	50.0
海草藻場の被度	0%	6	50.0	5	41.7
	5%未満	2	16.7	2	16.7
	5～25%	3	25.0	2	16.7
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	0	0.0	2	16.7
	75%以上	1	8.3	1	8.3
海草藻場構成種の出現種類数	0 種類	6	50.0	5	41.7
	1～2 種類	2	16.7	5	41.7
	3～4 種類	3	25.0	1	8.3
	5～6 種類	1	8.3	1	8.3
ホンダワラ藻場の被度	0%	7	58.3	7	58.3
	5%未満	3	25.0	3	25.0
	5～25%	2	16.7	1	8.3
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	0	0.0	1	8.3
	75%以上	0	0.0	0	0.0
ホンダワラ藻場構成種の出現種類数	0 種類	7	58.3	7	58.3
	1～2 種類	4	33.3	2	16.7
	3～4 種類	1	8.3	3	25.0
海草上の浮泥の堆積状況	無	2	16.7	5	41.7
	少	3	25.0	1	8.3
	多	1	8.3	1	8.3
海草上の付着藻類の状況	無	2	16.7	2	16.7
	少	3	25.0	1	8.3
	多	1	8.3	4	33.3

注) 浮泥、付着藻類の「無」は海藻類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。

表-6. 15. 1. 24(1) ライン補足調査における海藻草類のライン上  
スポット調査結果 (平成 20 年、春季)

調査時期：平成 20 年 3 月 29 日～4 月 19 日 (春季)

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数				
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	ユレモ科	2				
2			-	-	藍藻綱	7				
3	紅色植物	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	ソデガラミ	4				
4					ヒラガラガラ属	6				
5					ガラガラ	3				
6					ガラガラ属	2				
7					コナハダ	3				
8					サンゴモ	サンゴモ	ホソエダカニノテ	2		
9							ヒメモサズキ	3		
10			モサズキ属	4						
11				ハバリデウム	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	9				
12				カギケノリ	カギケノリ	4				
13				スギノリ	リュウモンソウ	エツキヒヒロウド	1			
14					イバラノリ	イバラノリ属	6			
15					イワノカワ	イワノカワ科	8			
16					オゴノリ	オゴノリ属	1			
17					マサゴシバリ	ワツナギソウ	2			
18					フシツナギ	カイメンソウ	6			
19				イギス	イギス	ウブゲグサ属	1			
20						ランゲリア	1			
21						イギス科	5			
22						ダジア	ダジア科	1		
23						フジマツモ	トゲノリ	2		
24							マクリ	5		
25							ソゾ属	3		
26							ジャバラノリ	1		
27							イトグサ属	3		
28			不等毛植物			褐藻	クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	2
29				アミジグサ	アミジグサ		ウラボシヤハズ	1		
30				イトアミジ	3					
31				アミジグサ属	7					
32				ハイオオギ	2					
33				アカバウミウチワ	1					
34				ウスユキウチワ	3					
35				ウミウチワ属	9					
36				ジガミグサ	1					
37		ナガマツモ		ナガマツモ	オキナワモスク		3			
38		カヤモノリ		カヤモノリ	フクロノリ		2			
39					カゴメノリ		5			
40					ホソカゴメノリ		1			
41					モサクダフクロ		2			
42		ヒバマタ		ホンダワラ	ヤバネモク		3			
43					コバモク		1			
44					ホンダワラ属		4			
45					カサモク		1			
46					ラッパモク		1			
47	緑色植物				緑藻		アオサ	アオサ	アオノリ属	1
48		シオグサ		ウキオリソウ			ウキオリソウ	1		
49							タノモグサ	1		
50				シオグサ			ジュズモ属	3		
51							シオグサ属	1		
52				ミドリゲ			アオモグサ	アオモグサ	2	
53								マダタマモ	ミドリゲ属	1
54								パロニア	キッコウグサ	5
55							ムクキッコウグサ	3		
56				パロニア属		1				
57			イワズタ	イワズタ		ビヤクシンズタ	1			
58						センナリスタ	3			
59						ヒラエスタ	1			
60						サイハイズタ	2			
61						ヨレズタ	2			
62						タカノハズタ	1			
63						キザミズタ	1			
64			ハゴロモ	コテンゲノハウチワ		コテンゲノハウチワ	1			
65						ハウチワ属	2			
66						ウチワサボテングサ	2			
67						ミツデサボテングサ	3			
68						サボテングサ	2			
69						フササボテングサ	3			
70						サボテングサ属	4			
71						ヒメイチョウ	3			
72						ハゴロモ	2			
73						ハゴロモ属	2			
74			ミル	モツレミル		1				
75		カサノリ	ダジクラズス	ナガミスタマ		ナガミスタマ	1			
76						ミスタマ	5			
77						ウスガサネ	2			
78						フデノホ	7			
79						カサノリ	ホソエガサ	2		
80						リュウキュウガサ	4			
81						カサノリ	5			
82						ヒナカサノリ	2			
83				イソスキナ	6					
84	種子植物			単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	4			
85			ウミヒルモ			2				
86			オオウミヒルモ			4				
87			ホソウミヒルモ			1				
88		ベニアマモ	ニラウミジグサ			2				
89			ウミジグサ属		3					
90			ベニアマモ		1					
91			リュウキュウアマモ		2					
92			ボウアマモ		1					

表-6. 15. 1. 24(2) ライン補足調査における海藻草類のライン上  
スポット調査結果 (平成 20 年、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 6 日 (秋季)

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数
1	藍色植物	藍藻	-	-	藍藻綱	7
2	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ソデガラミ	5
3					ヒラガラガラ属	2
4					ピロウドガラガラ属	5
5					ガラガラ	2
6			サンゴモ	サンゴモ	ホソエダカニノテ	2
7					モサズキ属	6
8				ハバリデウム	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	8
9			テングサ	テングサ	シマテングサ	3
10					テングサ科	4
11			スギノリ	イバラノリ	イバラノリ属	4
12				イワノカワ	イワノカワ科	7
13			オゴノリ	オゴノリ	オゴノリ属	4
14			マサゴシバリ	フシツナギ	カイメンソウ	7
15					テングサモドキ属	2
16			イギス	イギス	ウブゲグサ	1
17					ランゲリア	2
18					イギスコ	5
19				ダジア	ダジア科	2
20				フジマツモ	トゲノリ	1
21					キクヒオドシ	1
22					ヤナギノリ属	1
23					マクリ	4
24					ソゾ属	4
25					ジャバラノリ	1
26					イトグサ属	2
27					イトクズグサ	2
28					フジマツモ科	2
29	不等毛植物	褐藻	アミジグサ	アミジグサ	ウラボシヤハズ	1
30					アミジグサ属	8
31					ハイオオギ	6
32					ウミウチワ属	7
33					ジガミグサ	2
34			ヒバマタ	ホンダワラ	ヤバネモク	3
35					タマキレバモク	2
36					ホンダワラ属	5
37					ラッパモク	3
38	緑色植物	緑藻	シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	6
39				シオグサ	シオグサ属	1
40			ミドリゲ	アオモグサ	アオモグサ	1
41				パロニア	キッコウグサ	2
42					ムクキッコウグサ	3
43					オオパロニア	2
44			イワズタ	イワズタ	ビヤクシンズタ	2
45					センナリズタ	2
46					タカツキズタ	1
47					サイハイズタ	2
48					ヨレズタ	3
49					タカノハズタ	1
50					キザミズタ	1
51					イワズタ属	1
52				ハゴロモ	コテングノハウチワ	1
53					ハウチワ属	1
54					ウチワサボテングサ	1
55					ミツデサボテングサ	1
56					サボテングサ	5
57					フササボテングサ	1
58					ヒメイチョウ	2
59					ハゴロモ属	1
60			カサノリ	ダジクラズ	ミスタマ	3
61					ウスガサネ	2
62					フデノホ	9
63			カサノリ		リュウキュウガサ	2
64					カサノリ	2
65					イソスギナ	1
66	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキュウスガモ	5
67					ウミヒルモ	2
68					オオウミヒルモ	2
69				ベニアマモ	ニラウミジグサ	2
70					ベニアマモ	1
71					リュウキュウアマモ	2
72					ボウバアマモ	2

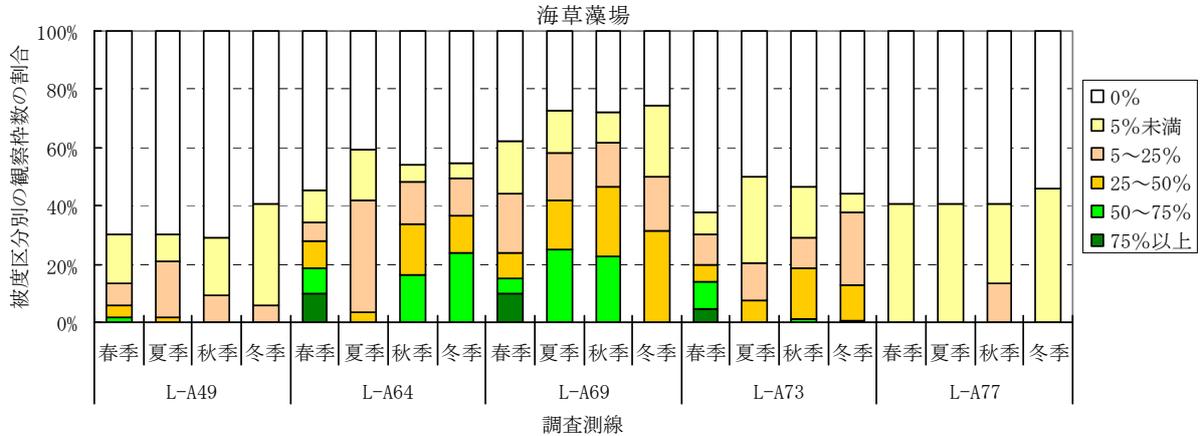
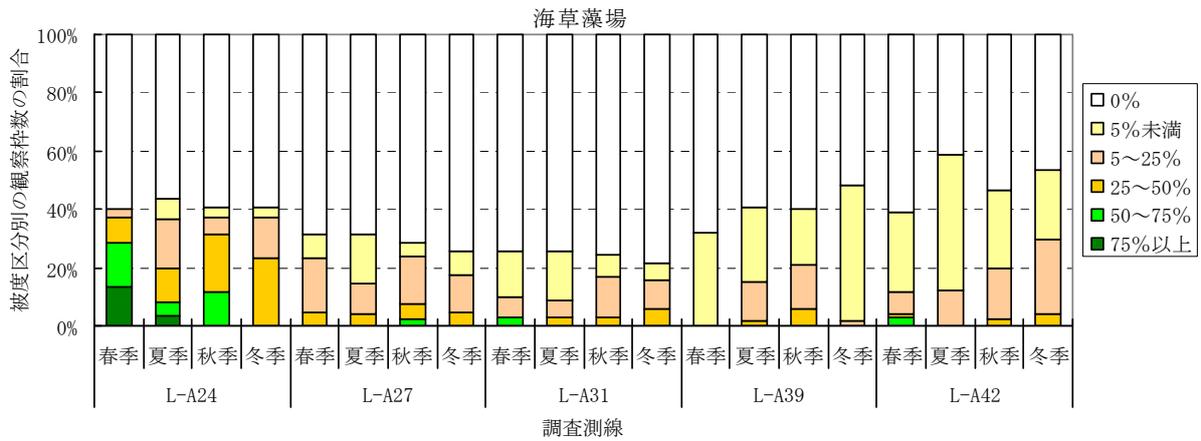
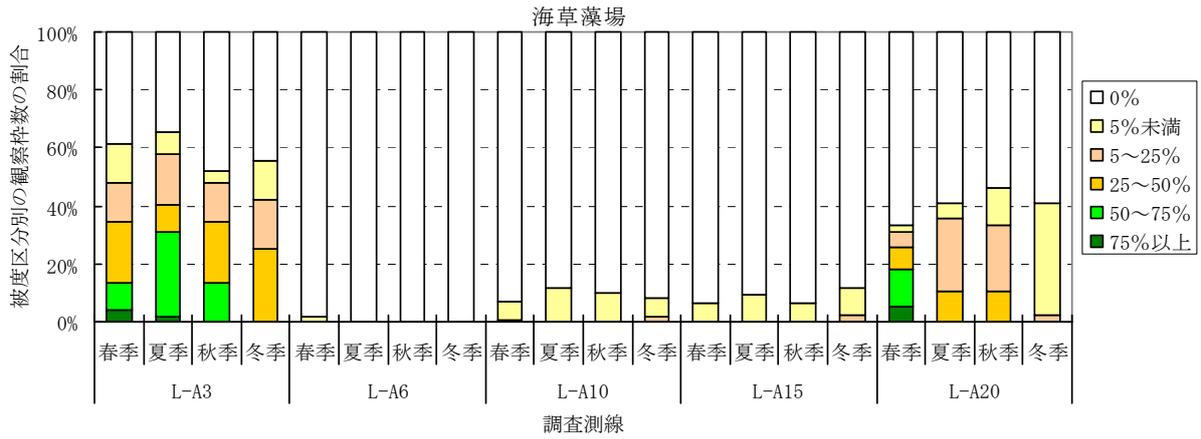


図-6.15.1.25 各調査測線における海草藻場の被度の変化（平成20年度）

- 注) 1. 各測線の潜水目視観察枠数（幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施）に占める、藻場が確認された観察枠数の割合を被度区分別に示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日（春季）、平成20年7月4日～8月26日（夏季）、平成20年10月3日～11月7日（秋季）、平成20年12月11日～平成21年1月26日（冬季）

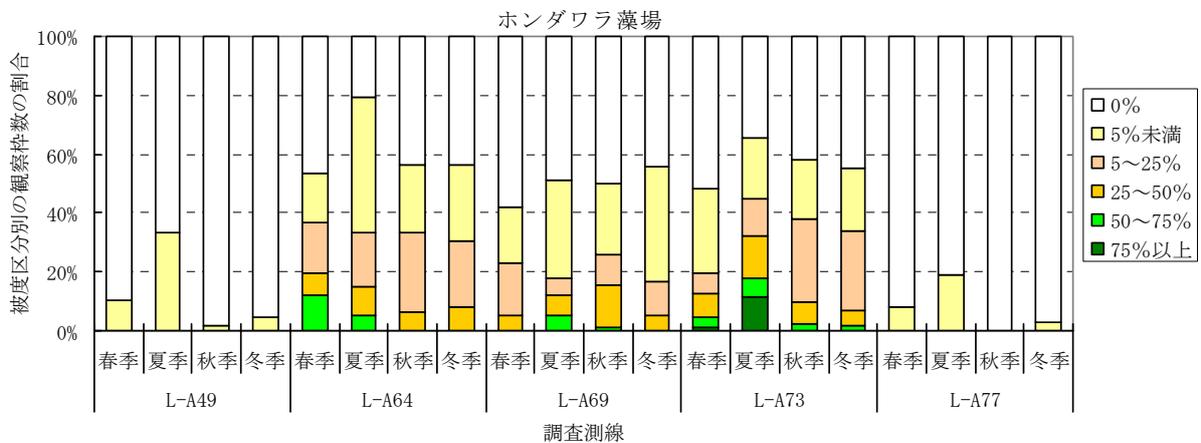
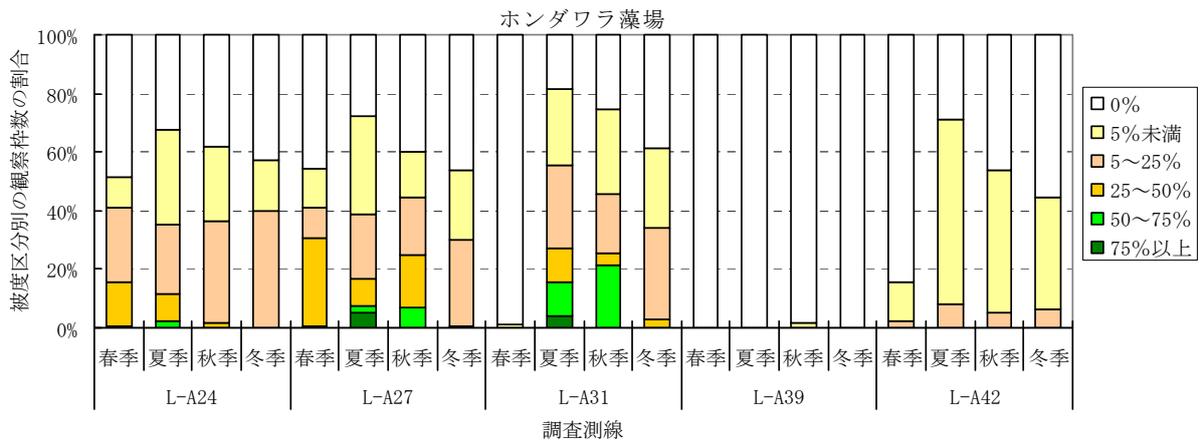
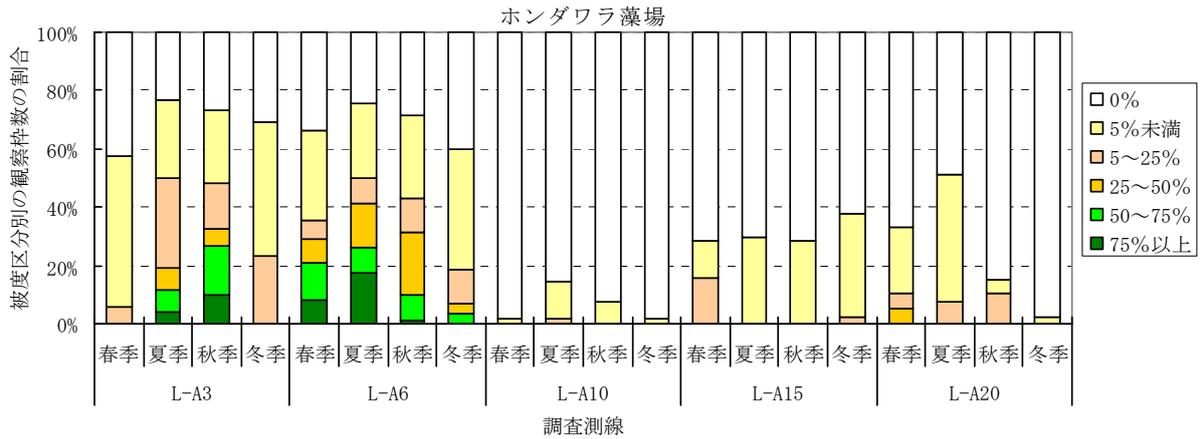


図-6. 15. 1. 26 各調査測線におけるホンダワラ藻場の被度の変化 (平成 20 年度)

注) 1. 各測線の潜水目視観察枠数 (幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施) に占める、藻場が確認された観察枠数の割合を被度区分別に示しています。

2. 調査時期: 平成 20 年 3 月 23 日~4 月 19 日 (春季)、平成 20 年 7 月 4 日~8 月 26 日 (夏季)、平成 20 年 10 月 3 日~11 月 7 日 (秋季)、平成 20 年 12 月 11 日~平成 21 年 1 月 26 日 (冬季)

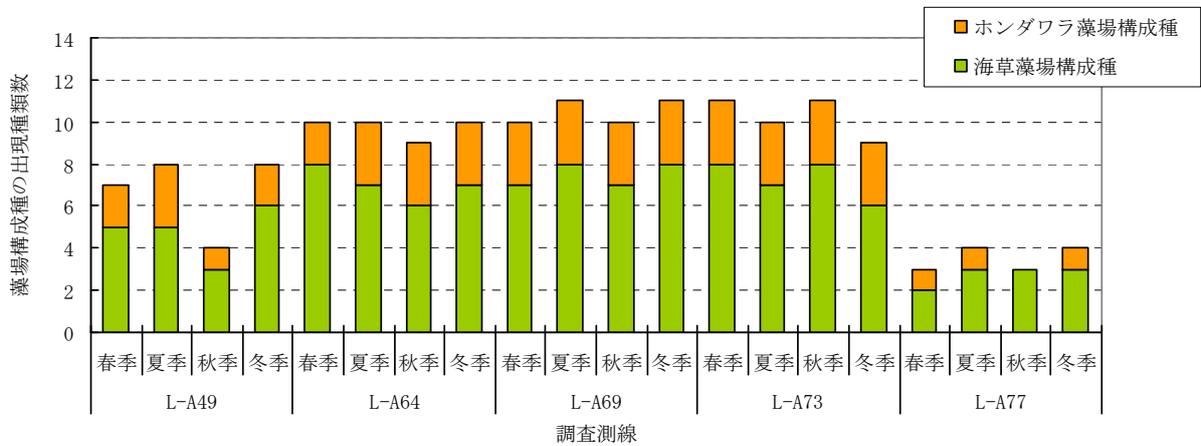
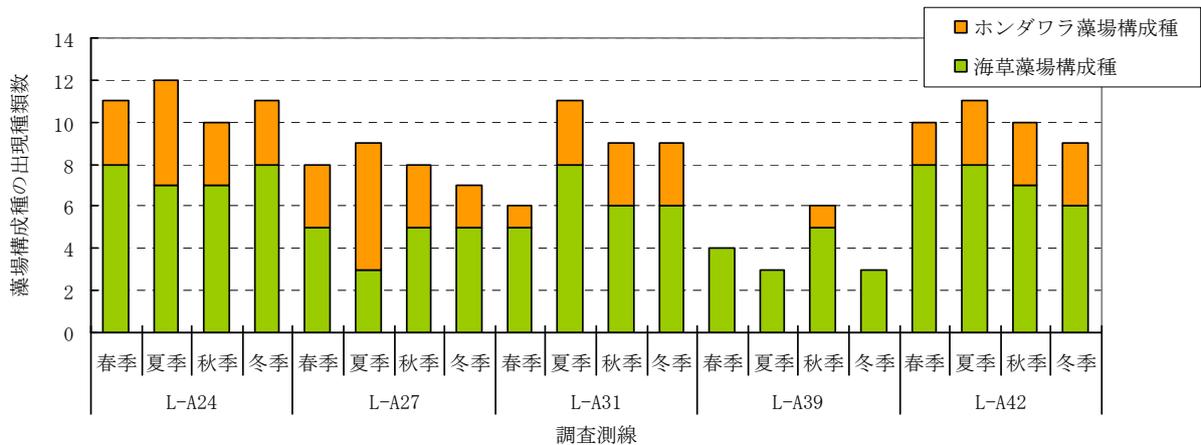
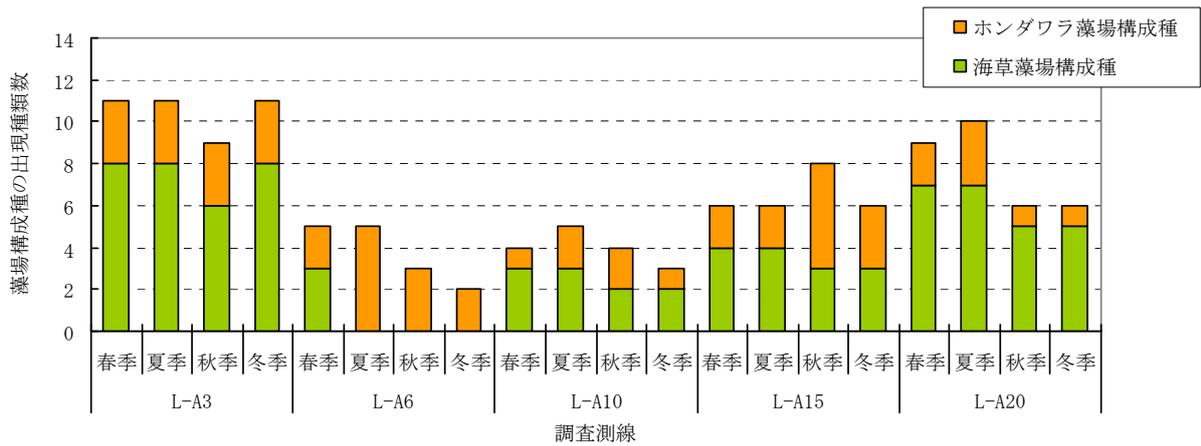


図-6. 15. 1. 27 各調査測線における藻場構成種の出現種類数の変化 (平成 20 年度)  
 注) 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日 (春季)、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日 (夏季)、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日 (秋季)、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日 (冬季)

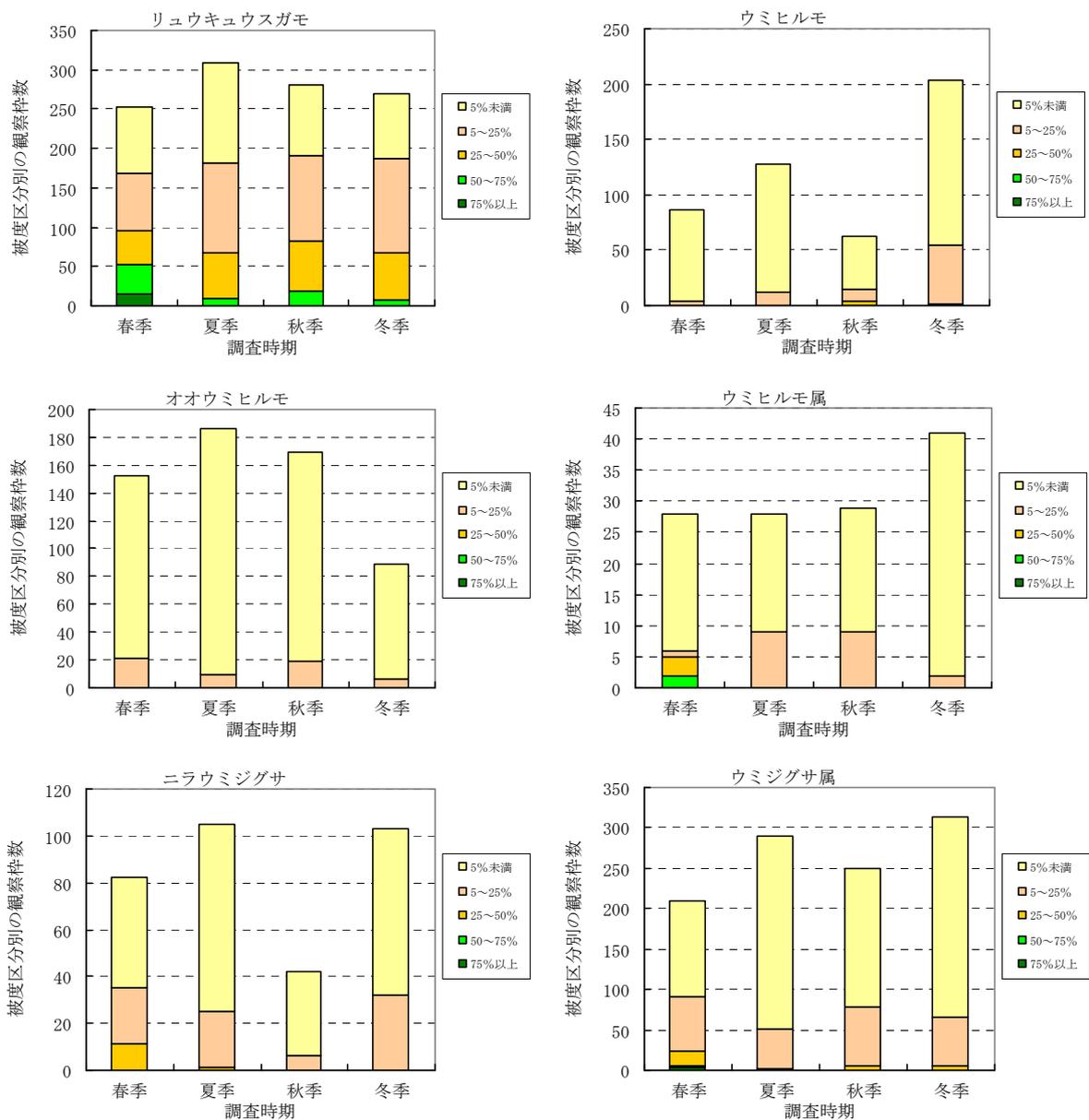


図-6. 15. 1. 28(1) 調査測線における海草藻場構成種の出現状況 (平成 20 年度)

注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全 15 測線において、藻場構成種各種が出現した観察株数 (調査測線上の幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施) を被度区別に集計した値を示しています。

2. 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日 (春季)、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日 (夏季)、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日 (秋季)、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日 (冬季)

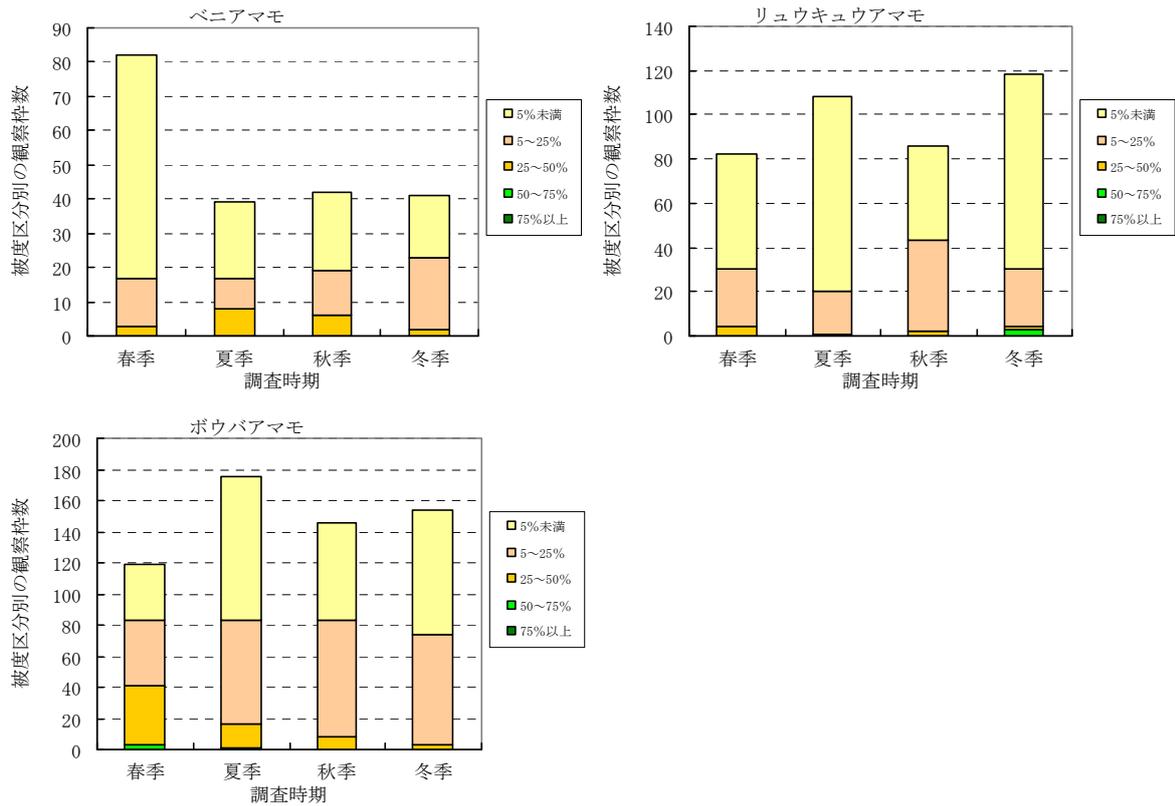


図-6. 15. 1. 28(2) 調査測線における海草藻場構成種の出現状況（平成20年度）

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全15測線において、藻場構成種各種が出現した観察枠数（調査測線上の幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施）を被度区別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日（春季）、平成20年7月4日～8月26日（夏季）、平成20年10月3日～11月7日（秋季）、平成20年12月11日～平成21年1月26日（冬季）

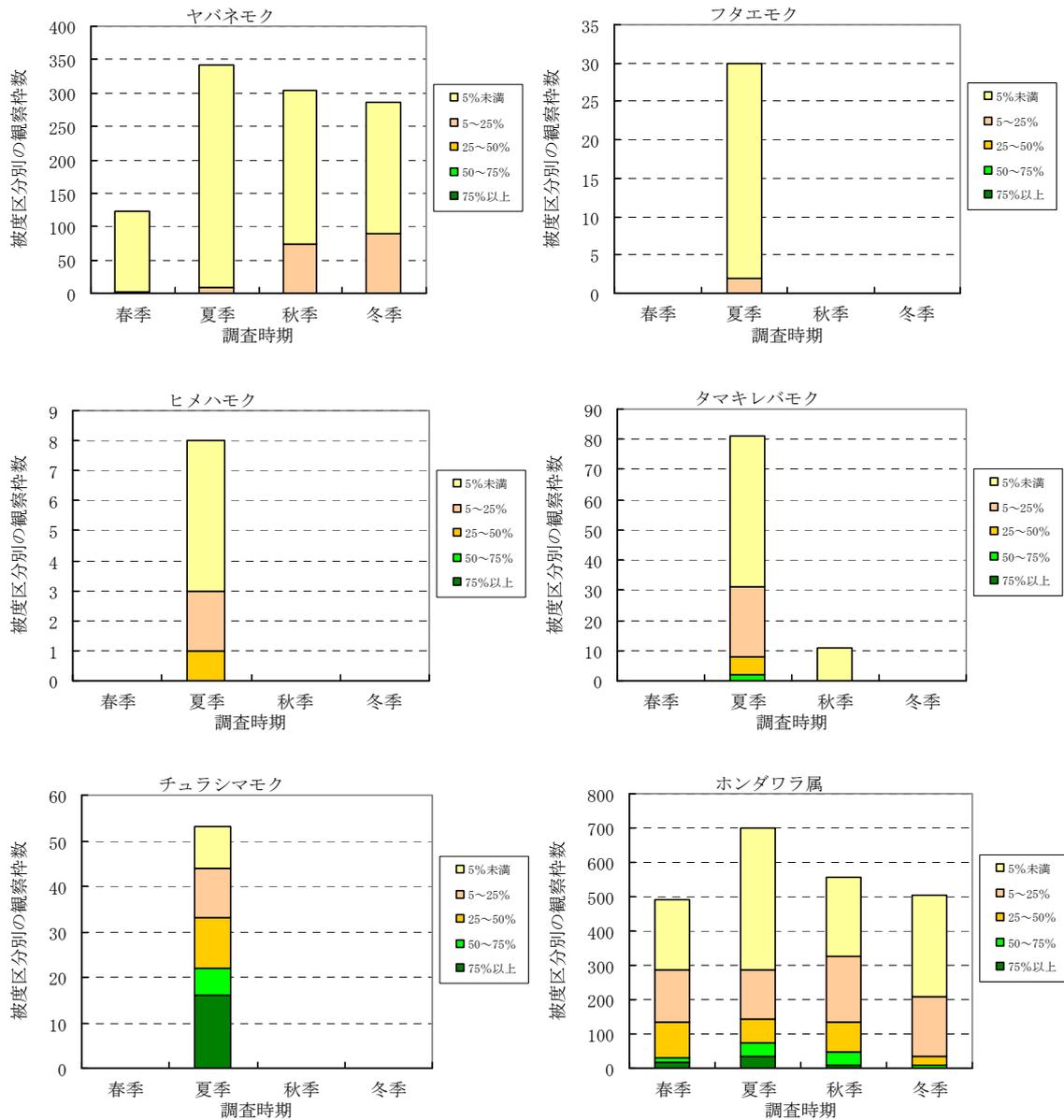


図-6.15.1.29(1) 調査測線におけるホンダワラ藻場構成種の出現状況(平成20年度)

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全15測線において、藻場構成種各種が出現した観察枠数(調査測線上の幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施)を被度区別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日(春季)、平成20年7月4日～8月26日(夏季)、平成20年10月3日～11月7日(秋季)、平成20年12月11日～平成21年1月26日(冬季)

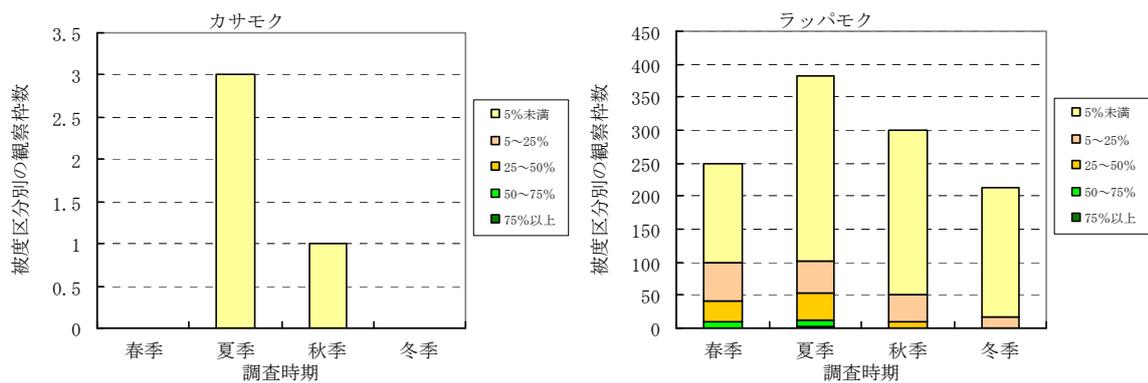


図-6. 15. 1. 29(2) 調査測線におけるホンダワラ藻場構成種の出現状況(平成 20 年度)

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全 15 測線において、藻場構成種各種が出現した観察株数(調査測線上の幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施)を被度区分別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日(春季)、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日(夏季)、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日(秋季)、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日(冬季)

d) スポット調査

スポット調査結果の概要を表-6.15.1.25に、夏季及び冬季のスポット調査結果を表-6.15.1.26及び表-6.15.1.27に示します。

各調査地点における海藻草類全体の被度は、全 120 調査地点の内 117 地点において被度 5%以上を示し、約半数の地点（夏季で 57 地点、冬季で 60 地点）において被度 50%以上を示しました。また、出現種類数は夏季、冬季共に 20 種類以上の調査地点の割合が最も高く、全調査地点（120 地点）合計の出現種類数は夏季（135 種類）に比べて冬季（169 種類）に多くなっていました。出現地点数が多かった海藻草類は、夏季、冬季共に緑藻綱のフデノホ（夏季 109 地点、冬季 106 地点）、褐藻綱のハイオオギ（夏季 101 地点、冬季 100 地点）などでした。

海草藻場については、被度 5%以上の藻場が確認されたのは夏季に 29 地点、冬季に 24 地点でした。被度区分別の調査地点数では夏季に被度 50%以上の地点が 5 地点みられたものの、冬季にはみられませんでした。全調査地点合計の海草藻場構成種（ベニアマモ科及びトチカガミ科の種）の出現種類数は夏季で 9 種類、冬季で 12 種類であり、海草類がみられた地点の中では夏季、冬季ともに 1~2 種類の調査地点が 17 地点と最も多く、3~4 種類、5~6 種類と徐々に出現種類数は少なくなっていました。出現地点数が多かった種類は、夏季ではリュウキュウスガモ（21 地点）、ボウバアマモ（19 地点）、冬季ではウミヒルモ（21 地点）、リュウキュウスガモ（20 地点）などでした。

ホンダワラ藻場についてみると、被度 5%以上の藻場が確認されたのは夏季に 39 地点、冬季に 28 地点でした。さらに、被度 50%以上の地点が夏季では 6 地点みられたものの、冬季にはみられず、ホンダワラ藻場構成種（ホンダワラ科の種）の出現種類数も夏季の方が多い傾向にありました。全調査地点合計の出現種類数は夏季 7 種類、冬季 6 種類であり、出現地点数が多かった種類は、夏季ではラッパモク（45 地点）、タマキレバモク（42 地点）、冬季ではラッパモク（38 地点）、ヤバネモク（31 地点）などでした。

海草上の浮泥の堆積状況及び付着藻類の状況についての調査は海草類が確認された夏季（37 地点）、冬季（38 地点）で行いました。浮泥の堆積が比較的多かった地点は夏季で 15 地点、冬季で 11 地点であり、付着藻類が比較的多かった地点は夏季で 9 地点、冬季で 16 地点でした。

表-6. 15. 1. 25 海藻草類のスポット調査結果概要（平成20年度）

調査時期：平成20年8月8日～30日（夏季）

平成20年12月2日～平成21年1月26日（冬季）

項目	区分	夏季		冬季	
		調査地点数	全120地点に占める割合(%)	調査地点数	全120地点に占める割合(%)
海藻草類の被度	0%	0	0.0	0	0.0
	5%未満	3	2.5	2	1.7
	5～25%	29	24.2	24	20.0
	25～50%	31	25.8	34	28.3
	50～75%	31	25.8	42	35.0
	75%以上	26	21.7	18	15.0
海藻草類の出現種類数	0種類	0	0.0	0	0.0
	1～4種類	2	1.7	0	0.0
	5～9種類	4	3.3	3	2.5
	10～19種類	32	26.7	17	14.2
	20種類以上	82	68.3	100	83.3
海草藻場の被度	0%	83	69.2	82	68.3
	5%未満	8	6.7	14	11.7
	5～25%	18	15.0	15	12.5
	25～50%	6	5.0	9	7.5
	50～75%	3	2.5	0	0.0
	75%以上	2	1.7	0	0.0
海草藻場構成種の出現種類数	0種類	83	69.2	82	68.3
	1～2種類	17	14.2	17	14.2
	3～4種類	14	11.7	13	10.8
	5～6種類	5	4.2	5	4.2
	7～8種類	1	0.8	3	2.5
ホンダワラ藻場の被度	0%	36	30.0	38	31.7
	5%未満	45	37.5	54	45.0
	5～25%	24	20.0	27	22.5
	25～50%	9	7.5	1	0.8
	50～75%	5	4.2	0	0.0
	75%以上	1	0.8	0	0.0
ホンダワラ藻場構成種の出現種類数	0種類	36	30.0	38	31.7
	1～2種類	45	37.5	64	53.3
	3～4種類	39	32.5	17	14.2
	5～6種類	0	0.0	1	0.8
海草上の浮泥の堆積状況	無	8	6.7	8	6.7
	少	14	11.7	19	15.8
	多	15	12.5	11	9.2
海草上の付着藻類の状況	無	2	1.7	1	0.8
	少	26	21.7	21	17.5
	多	9	7.5	16	13.3

注) 浮泥、付着藻類の「無」は海草類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。

表-6. 15. 1. 26 海藻草類のスポット調査結果(平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年8月8日～8月30日

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現地点数	No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現地点数
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	<i>Lyngbya</i> 属	11	67	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオノリ属	4
2					ユレモ科	4	68			シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	64
3					藍藻綱	107	69					アミモヨウ	6
4	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ツラガラミ	72	70					タノモグサ	10
5					ヒラガラガラ属	61	71			シオグサ	シオグサ属	タノモグサ	59
6					ヒコウダガラガラ属	8	72			アオモグサ	アオモグサ	ハネアオモグサ	18
7					ガラガラ	3	73	ミドリゲ				マゴタマモ	6
8					ガラガラ属	21	74					マゴタマモ	5
9					コナハダ	3	75					ミドリゲ属	1
10					ウミノウメン	1	76			パロニア	キッコウグサ	キッコウグサ	45
11			サンゴモ	サンゴモ	ハイカニノテ	5	77					ムクキッコウグサ	48
12					ホソエダカニノテ	27	78					タマパロニア	1
13					カニノテ属	10	79					タマゴパロニア	3
14					ヒメシコロ	1	80					パロニア属	10
15					ハネヒメシコロ	3	81					オオパロニア	16
16					モサスキ属	76	82			イワスタ	イワスタ	ヘライワスタ	2
17					イシノハナ	9	83					ビヤクシズタ	21
18					ハバリデウム	106	84					ヒメシズタ	2
19			テングサ	テングサ	シマテングサ	23	85					クビレズタ	2
20					テングサ属	12	86					スズカケズタ	1
21					テングサ科	61	87					センナリズタ	21
22					ウルデマニア	2	88					ヒラエズタ	8
23			スギノリ		<i>Wurdemannia miniata</i>	1	89					タカツキズタ	13
24					ムカデノリ	1	90					サイハイズタ	26
25					イバラノリ	1	91					ヨレズタ	51
26					ツカサノリ	1	92					タカノハズタ	26
27					ヒカゲノイト	1	93					ギザミズタ	7
28					イワノカワ	1	94					イチイズタ	8
29					イワノカワ	1	95					コケイワスタ	1
30			オゴノリ		オゴノリ	12	96					リュウキュウズタ	1
31			マサゴシバリ		ワツナギソウ	8	97					イワスタ属	9
32					ワツナギソウ	63	98					コテングノハウチワ	2
33					カイメンソウ	6	99			ハゴロモ		マルバハウチワ	1
34					フシツナギ属	1	100					ハウチワ属	13
35					マサゴシバリ	1	101					マユハキモ	6
36					イギス	3	102					マユハキモ属	6
37						7	103					ウチワサボテングサ	27
38					ウツガクサ	60	104					ミツデサボテングサ	20
39					ランガリア	11	105					ヒロハサボテングサ	9
40					イギス科	60	106					サボテングサ	33
41					ダジア	11	107					フササボテングサ	8
42					フジマツモ	6	108					サボテングサ属	43
43						15	109					ニセハウチワ属	6
44					トダノリ	6	110					ヒメイチヨウ	33
45					キクヒオドシ	15	111					ハゴロモ	15
46					ヤナギノリ属	2	112					ハゴロモ属	1
47					マカリ	54	113			ミル	ミル	ナンバンハイミル	6
48					クモノスヒメゴケ	3	114					モツレミル	1
49					ソフ属	37	115					ミル属	15
50	不等毛植物	褐藻	クロガシラ	クロガシラ	ジヤバシノリ	7	116			ハネモ	ハネモ	カタハノハネモ	8
51			アマシジクサ	アマシジクサ	イトクサ属	6	117					ハネモ属	3
52					イトクサ科	20	118			カサノリ	ダジクラズ	ナガミズタ	4
53					イトクサ属	15	119					ミスダマ	54
54					フジマツモ科	15	120					ウスガサネ	17
55					クロガシラ属	14	121					フデノホ	109
56					ウラボシキハズ	21	122					リュウキュウガサ	51
57					シウキハズ	2	123					カサノリ	15
58					イトアミジ	25	124					ハナレガサ	3
59					アマシジクサ属	102	125					ヒナカサノリ	6
60					ハイオオギ	101	126					イソスギナ	27
61					ウスユキウチワ	56	127	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキュウスガモ	21
62					ウミウチワ属	46	128					ウミヒルモ	14
63					ジガミクサ	20	129					オオウミヒルモ	10
64					エツキシマオオギ	3	130					ホソウミヒルモ	1
65					アマシジクサ科	1	131					ベニアマモ	3
66			ヒバマタ	ホンダワラ	ヤバネモク	37	132					ニラウミジクサ	10
					フタエモク	7	133					ウミジクサ属	18
					ヒメハモク	1	134					ベニアマモ	3
					タマキレバモク	42	135					リュウキュウアマモ	10
					ホンダワラ属	60						ポウバアマモ	19
					カサモク	3							
					ラッパモク	45							

表-6. 15. 1. 27 海藻草類のスポット調査結果(平成 20 年度、冬季)

調査時期：平成 20 年 12 月 2 日～平成 21 年 1 月 26 日

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数	No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数
1	藍色植物	藍藻	ネンジュモ	ヒゲモ	ヒゲモ科	1	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオノリ属	6	
2			ユレモ	ユレモ	<i>Lyngbya</i> 属	6				ウキオリソウ	ウキオリソウ	64	
3			-	-	ユレモ科	3				アミモヨウ	アミモヨウ	7	
4			-	-	藍藻綱	117				タノモグサ	タノモグサ	23	
5	紅色植物	紅藻	ウミノウメ	ガラガラ	ソデガラミ	70	シオグサ	シオグサ	アモモグサ	アモモグサ属	4		
6					シマソデガラミ	3			ジュズモ属	2			
7					ヒラガラガラ属	53			シオグサ属	58			
8					ウスバガラガラ	1			アオモグサ	36			
9					ピロウドガラガラ属	17			104	ハネアオモグサ	1		
10					ガラガラ	13			105	アオモグサ属	1		
11					ガラガラ属	11			106	サイノメアミハ	2		
12					コナハダ	14			107	マガタマモ	11		
13					ウミノウメ	1			108	ミドリゲ属	2		
14					サンゴモ	サンゴモ			1	109	パロニア	73	
15					ハイカニノテ	25			110	ムクキウグサ	57		
16			ホソエダカニノテ	12	111	タマパロニア	3						
17			カニノテ属	1	112	タマゴパロニア	2						
18			ヒメシコロ	1	113	パロニア	1						
19			ハネヒメシコロ	2	114	パロニア属	18						
20			ヒメモサズキ	86	115	オオパロニア	25						
21			モサズキ属	4	116	ヘライウズタ	3						
22			イシノハナ	116	117	イウズタ	12						
23			サビ亜科(無節サンゴモ類)	32	118	ヒヤクシズタ	1						
24			テングサ	テングサ	1	119	クビレズタ	10					
25			シマテングサ	13	120	スズカケズタ	2						
26			ハイテングサ	62	121	センナリズタ	22						
27			テングサ科	2	122	ヒラエズタ	9						
28			カギケノリ	カギケノリ	1	123	エツキズタ	1					
29			カギケノリ	カギケノリ	1	124	タカツキズタ	16					
30			リュウモンソウ	ヒビロウド	2	125	サイハイズタ	16					
31			ムカデノリ	フイリグサ	1	126	ヨレズタ	52					
32			キントキ属	イバラノリ	60	127	タカノハズタ	11					
33			イバラノリ	イバラノリ属	1	128	キザミズタ	10					
34			ヒカゲノイト	ユルジギス属	2	129	イチイズタ	14					
35			イワノカワ	エツキイワノカワ	105	130	コケイウズタ	7					
36			イワノカワ科	ユカリ	4	131	リュウキウズタ	2					
37			ユカリ	ユカリ	10	132	イウズタ属	3					
38			ホソバナミノハナ	スギノ目	3	133	ハゴロモ	13					
39			オゴノリ	オゴノリ	23	134	マユハキモ	12					
40			マサゴシバリ	ワツナギソウ	1	135	マユハキモ属	6					
41			ワツナギソウ	ワツナギソウ	7	136	ウチワサボテングサ	32					
42			ワツナギソウ属	ワツナギソウ	14	137	ミツデサボテングサ	19					
43			フシツナギ	カイメンソウ	72	138	サボテングサ	17					
44			フシツナギ	テングサモドキ	5	139	サボテングサ属	74					
45			マサゴシバリ	テングサモドキ属	49	140	ニセハウチワ	5					
46			イギス	スジコノリ属	1	141	ヒメイチョウ	31					
47			イギス	イギス属	2	142	ハゴロモ	24					
48			ヨツノサデ属	1	143	ナンバンハイミル	2						
49			ウブゲグサ	3	144	モツレミル	2						
50	ランゲリア	イギス科	64	145	ミル属	21							
51	イギス科	ダジア	8	146	ハネモ	5							
52	ダジア	ダジア属	17	147	ハネモ属	22							
53	ダジア科	カラゴロモ	1	148	ナガミズタ	4							
54	コノハノリ	コノハノリ科	2	149	ミズタ	55							
55	コノハノリ	トゲノリ	17	150	ウスガサネ	32							
56	フジマツモ	キクヒオドシ	32	151	フデノホ	106							
57	フジマツモ	ヤナギノリ属	29	152	ホソエガサ	7							
58	マクリ	マクリ	55	153	リュウキウガサ	61							
59	マクリ	クモノスヒメゴケ	4	154	カサノリ	31							
60	ヒメゴケ属	ヒメゴケ属	15	155	ハナレガサ	2							
61	ソゾノハナ	ソゾノハナ	1	156	ヒナカサノリ	7							
62	ナンカイソウ	ナンカイソウ	2	157	イソスギナ	24							
63	ソゾ属	ソゾ属	39	158	リュウキウウスガモ	20							
64	ジャバラノリ	ジャバラノリ	25	159	ウミヒルモ	21							
65	ヨレミグサ属	ヨレミグサ属	1	160	オオウミヒルモ	3							
66	イトクズ属	イトクズ属	27	161	ホソウミヒルモ	3							
67	イトクズ属	イトクズ属	21	162	ニラウミジグサ	12							
68	フジマツモ科	フジマツモ科	8	163	ホソバウミジグサ	2							
69	-	-	43	164	マツバウミジグサ	6							
70	不等毛植物	褐藻	シオミドロ	シオミドロ科	シオミドロ科	11	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキウウスガモ	20	
71			クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	15				ウミヒルモ	21		
72			アマジグサ	ウラボシヤハズ	35	166				オオウミヒルモ	3		
73			アマジグサ	ヤハズガサ属	3	167				ホソウミヒルモ	3		
74			イトアミジ	イトアミジ	8	168				ニラウミジグサ	12		
75			アマジグサ属	アマジグサ属	101	169				ホソバウミジグサ	2		
76			ハイオオギ	ハイオオギ	100	164				マツバウミジグサ	6		
77			ハイオオギ属	ハイオオギ属	5	165				マツバウミジグサ	6		
78			ウスバウミウチワ	ウスバウミウチワ	4	166				ホソニラウミジグサ	3		
79			アカバウミウチワ	アカバウミウチワ	11	167				ウミジグサ属	12		
80			ウスユキウチワ	ウスユキウチワ	70	168				パニアマモ	5		
81			ウミウチワ属	ウミウチワ属	39	169				リュウキウアマモ	8		
82			ジガミグサ	ジガミグサ	29	164				ボウバアマモ	18		
83			シマオオギ	シマオオギ	4	165							
84			エツキシマオオギ	エツキシマオオギ	13	166							
85			ナガマツモ	ナガマツモ	12	167							
86			カヤモノリ	ムラチドリ	1	168							
87			カヤモノリ	フクロノリ	6	169							
88			カヤモノリ	カゴメノリ	10								
89			カヤモノリ	モサクダフクロ	1								
90			ヒバマタ	ホンダワラ	31								
91			ヒバマタ	ヤバネモク	3								
92			ヒバマタ	アツバモク	2								
93			ヒバマタ	フタエモク	2								
94			ヒバマタ	タマキレバモク	21								
95			ヒバマタ	ホンダワラ属	55								
					ラッパモク	38							

e) 海草類の生育量調査

海草類の生育量調査結果の概要を表-6.15.1.28に示します。

生育量調査では8種類の海草類が採取され、乾燥重量は全24調査地点の合計で夏季に約214g/0.25m<sup>2</sup>、冬季に約134g/0.25m<sup>2</sup>、1地点あたりの平均ではそれぞれ約8.9g/0.25m<sup>2</sup>、約5.6g/0.25m<sup>2</sup>でした。

最も多くの調査地点で採取された海草類はリュウキュウスガモであり、乾燥重量の合計についてもリュウキュウスガモが約70g/0.25m<sup>2</sup>と最も大きい値を示しました。一方、ウミヒルモは9地点で、オオウミヒルモは7地点でそれぞれ採取されたものの、乾燥重量の合計はともに1g/0.25m<sup>2</sup>未満と低い値でした。

上記の結果のうち、最大繁茂季である夏季の結果を用いて、海草類の生育量を推定しました。

まず、各調査地点における生育被度と乾燥重量の関係を整理した結果、両者の間には図-6.15.1.30に示すとおり比較的良好な相関関係が認められたことから、ここで得られた一次回帰式 ( $y=0.169x$ 、 $x$ : 生育被度(%)、 $y$ : 乾燥重量(g/0.25m<sup>2</sup>)) を用いて、生育被度から乾燥重量を算定しました。

乾燥重量は辺野古地先、大浦湾及び嘉陽地先の各海域における生育被度区分ごとの面積に応じて算定しました。算定結果は表-6.15.1.29に示すとおりとなり、海草類の生育量(乾燥重量)は辺野古地先で約75.9t、大浦湾で約11.5t、嘉陽地先で約9.5t、全域で約96.9tと推定されました。

表-6.15.1.28(1) 海草類の生育量調査結果 (夏季)

調査時期：平成20年7月2日

単 位：g/0.25m<sup>2</sup>(乾燥重量)

No.	和名	St. AG1	St. AG2	St. AG3	St. AG4	St. AG5	St. AG6	St. AG7	St. AG8
1	ニラウミジグサ		0.601	1.720	1.133	2.945	2.520	3.336	5.276
2	ウミジグサ属	1.383		0.242		0.074			0.052
3	リュウキュウアマモ	16.573	0.125	0.160					
4	ベニアマモ		2.578						
5	ボウバアマモ	0.125	0.178	1.395			4.163	4.951	1.287
6	リュウキュウスガモ		3.769	3.358	6.728	7.212	4.946	11.147	1.477
7	ウミヒルモ	0.015	0.015		0.002			0.028	
8	オオウミヒルモ	0.491	0.015		+			0.012	0.033
合 計		18.587	7.281	6.875	7.863	10.231	11.629	19.474	8.125
海草類の生育被度(%)		80	55	70	65	75	80	85	75

No.	和名	St. AG9	St. AG10	St. AG11	St. AG12	St. AG13	St. AG14	St. AG15	St. AG16
1	ニラウミジグサ		6.253	30.122	4.234				
2	ウミジグサ属	2.630	0.170	0.030	0.179			0.019	0.001
3	リュウキュウアマモ							11.301	7.225
4	ベニアマモ								
5	ボウバアマモ							0.248	8.125
6	リュウキュウスガモ		1.357		7.448	3.555	4.790		
7	ウミヒルモ	0.506	+	0.010		0.207	0.019		
8	オオウミヒルモ		0.012						
合 計		3.136	7.792	30.162	11.861	3.762	4.809	11.568	15.351
海草類の生育被度(%)		55	50	85	50	35	30	65	75

No.	和名	St. AG17	St. AG18	St. AG19	St. AG20	St. AG21	St. AG22	St. AG23	St. AG24	合計
1	ニラウミジグサ			1.205		4.070				63.415
2	ウミジグサ属							2.802		7.582
3	リュウキュウアマモ				5.193	0.939				41.516
4	ベニアマモ			0.402		0.039				3.019
5	ボウバアマモ				0.987	1.728				23.187
6	リュウキュウスガモ	4.246	4.071	3.985		0.818	3.689		1.531	74.127
7	ウミヒルモ									0.802
8	オオウミヒルモ					0.121				0.684
合 計		4.246	4.071	5.592	6.180	7.715	3.689	2.802	1.531	214.332
海草類の生育被度(%)		35	30	40	40	40	25	70	20	-

注) 1. 50cm×50cmの方形枠内における海草類の葉部を採取し、乾燥重量を測定しました。  
 2. 「+」は0.001g/0.25 m<sup>2</sup>未満であることを示しています。

表-6. 15. 1. 28(2) 海草類の生育量調査結果概要 (冬季)

調査時期：平成 21 年 1 月 19、21 日

単 位：g/0.25m<sup>2</sup>(乾燥重量)

No.	和 名	St. AG1	St. AG2	St. AG3	St. AG4	St. AG5	St. AG6	St. AG7	St. AG8
1	ニラウミジグサ	0.025	1.979	0.846	3.184	1.169	0.581	0.404	1.172
2	ウミジグサ属	1.287	0.016	0.280		0.091		+	0.013
3	リュウキュウアマモ	0.622	0.759	0.122	1.514				
4	ベニアマモ	0.605	0.725	0.326		0.047			
5	ボウバアマモ	1.387	1.838	0.472			0.339	0.033	
6	リュウキュウスガモ	3.426	5.353	4.450	10.332	3.954	5.226	5.109	0.393
7	ウミヒルモ	0.087	0.067	+	0.025			+	0.254
8	オオウミヒルモ	0.045			0.069				
合 計		7.484	10.737	6.496	15.124	5.261	6.146	5.546	1.832
海草類の生育被度(%)		65	75	60	80	55	55	55	35

No.	和 名	St. AG9	St. AG10	St. AG11	St. AG12	St. AG13	St. AG14	St. AG15	St. AG16
1	ニラウミジグサ	3.168	1.641	8.294	2.648			2.046	2.512
2	ウミジグサ属	1.086	0.101	0.105	0.041			0.015	0.230
3	リュウキュウアマモ	1.497						0.670	3.472
4	ベニアマモ								
5	ボウバアマモ		0.013		0.007			1.039	3.032
6	リュウキュウスガモ	0.777	0.214		3.177	4.439	4.681	0.009	
7	ウミヒルモ	+	0.031	0.046		0.202	0.071	+	+
8	オオウミヒルモ	0.002	0.199						
合 計		6.530	2.199	8.445	5.873	4.641	4.752	3.779	9.246
海草類の生育被度(%)		50	30	70	30	15	20	45	80

No.	和 名	St. AG17	St. AG18	St. AG19	St. AG20	St. AG21	St. AG22	St. AG23	St. AG24	合計
1	ニラウミジグサ			0.191	0.188	0.725				30.773
2	ウミジグサ属				+	0.017		2.162		5.444
3	リュウキュウアマモ				0.533	2.282	3.478			14.949
4	ベニアマモ			1.399		0.628				3.730
5	ボウバアマモ			0.065	2.036	0.989	0.091			11.341
6	リュウキュウスガモ	3.104	3.631	5.435	0.174		1.425		1.391	66.700
7	ウミヒルモ							+		0.783
8	オオウミヒルモ					0.035				0.350
合 計		3.104	3.631	7.090	2.931	4.676	4.994	2.162	1.391	134.070
海草類の生育被度(%)		20	20	45	35	40	35	15	5	-

注) 1. 50cm×50cm の方形枠内における海草類の葉部を採取し、乾燥重量を測定しました。

2. 「+」は 0.001g/0.25 m<sup>2</sup>未満であることを示しています。

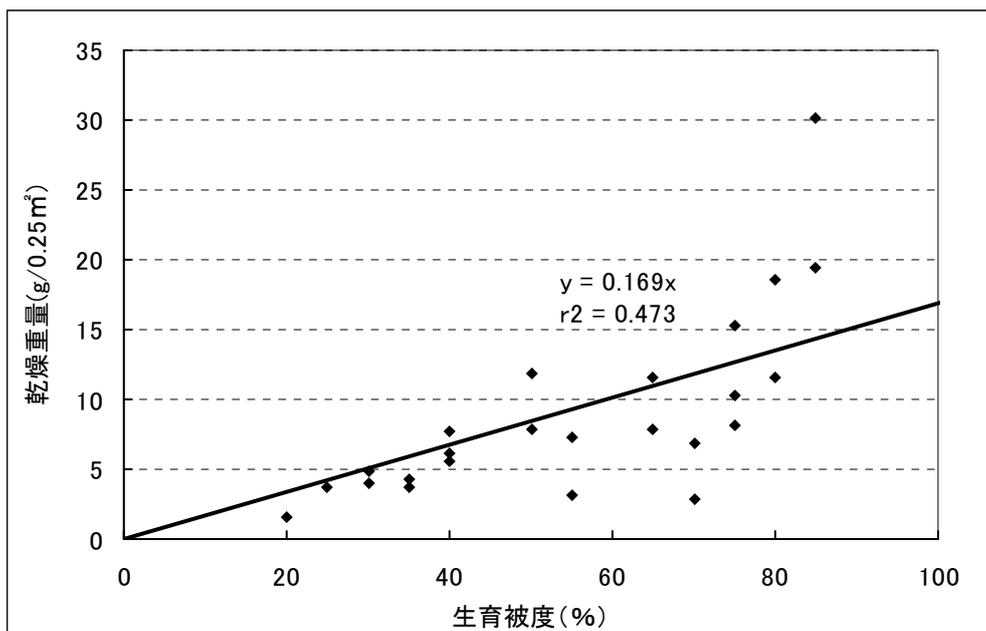


図-6.15.1.30 夏季の生育量調査結果に基づく海草類の生育被度と乾燥重量の関係

表-6.15.1.29 海草類の生育量の算定結果

生育被度 区分	海域別海草類面積 (ha)				単位面積あたり の乾燥重量 【D、kg/ha】
	辺野古地先 【A】	大浦湾 【B】	嘉陽地先 【C】	全 域 【A+B+C】	
5~25%	339.5	83.5	22.0	445.0	101.4
25~50%	131.5	7.0	14.0	152.5	253.5
50~75%	13.7	1.9	6.8	22.4	422.5
75~100%	4.0	0.8	1.4	6.2	591.5
合 計	488.7	93.2	44.2	626.1	—

生育被度 区分	海域別海草類生育量 (乾燥重量、kg)			
	辺野古地先 【E=A×D】	大浦湾 【F=B×D】	嘉陽地先 【G=C×D】	全 域 【H=E+F+G =(A+B+C)×D】
5~25%	34,425	8,467	2,231	45,123
25~50%	33,335	1,775	3,549	38,659
50~75%	5,788	803	2,873	9,464
75~100%	2,366	473	828	3,667
合 計	75,914	11,518	9,481	96,913

注) 単位面積あたりの乾燥重量は、各生育被度区分の中央値を用いて求めています (例: 5~25%→15%)。

(b) 主要な海草藻場、海藻群落の分布

マンタ調査、ライン調査及びスポット調査の結果に基づいて、海藻草類の被度が比較的高い範囲について、アマモ類をはじめとする大型の海草類により構成される藻場（海草藻場）と、ホンダワラ類をはじめとする大型の海藻類により構成される藻場（ホンダワラ藻場）に分けて整理した結果を、それぞれ図-6.15.1.31及び図-6.15.1.32に示します。

海草藻場は、リーフ内の比較的静穏な水域に分布し、辺野古地先、大浦湾奥部、安部の湾内、ギミ崎の東側において比較的被度が高い箇所がみられました。

ホンダワラ藻場は、波浪の影響が比較的大きなリーフ上やリーフ外縁に広く分布し、辺野古地先、大浦湾口部、安部～嘉陽地先に比較的被度が高い箇所がみられました。

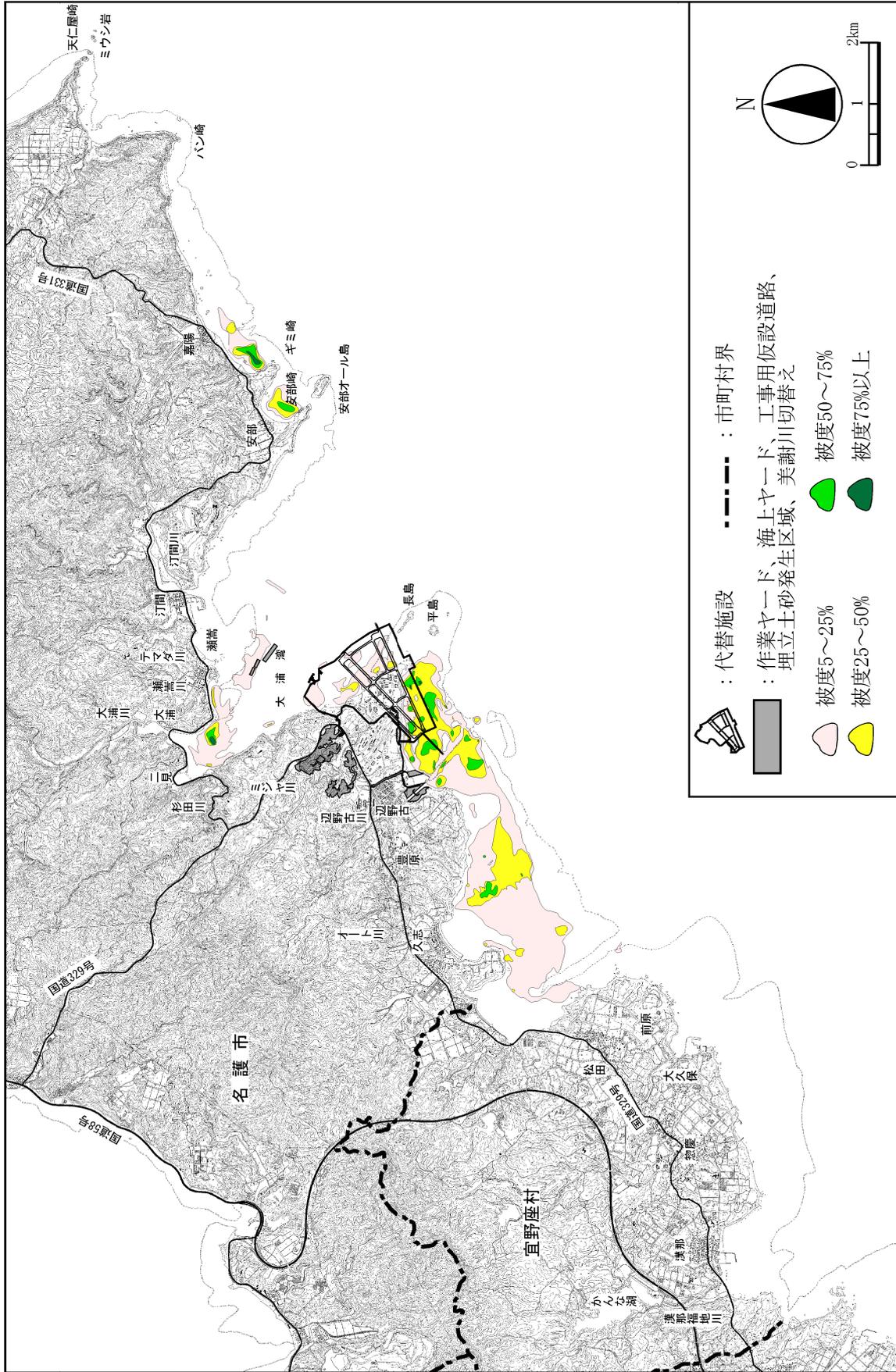


図-6.15.1.31 海草藻場の分布状況 (平成20年度)

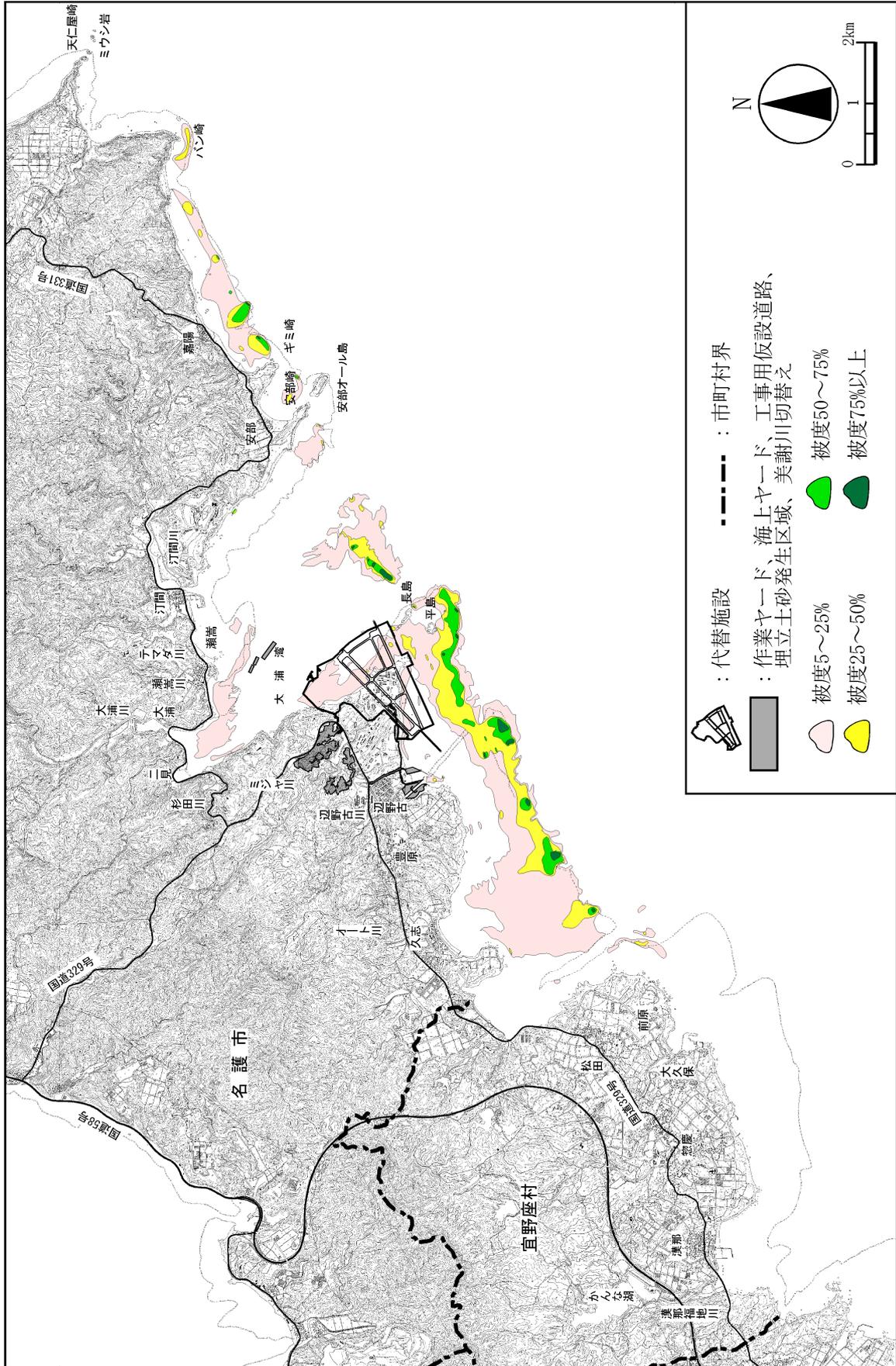


図-6.15.1.32 ホンダワラ藻場の分布状況（平成20年度）